

# しまだけじゅうたくさかぐら 島田家住宅酒蔵

## 1. 建物の概要

所在地	益田市乙吉町
所有者	個人
建築年代	江戸後期（1751～1830）/ 明治期（1868～1912）増築
登録年	平成29（2017）年
構造等	土蔵造2階建・瓦葺 建築面積 298㎡



【島田家住宅酒蔵】

## 2. 沿革

益田市中心部の小高い丘の南麓に位置し、かつては酒醸造も営んでいた旧家。白漆喰塗の外壁が特徴ある街路景観を形成している。

## 3. 建物の特徴

酒蔵は、北側に迫る丘陵に近接して建てられており、敷地境界に対して目いっぱい築地塀と続く形で建物が配されている。

切込み接ぎの石垣の上に土台建、木造2階建の白漆喰塗込（土蔵造）とし、屋根は切妻造妻入で軒下を塗り込めた鉢巻のつくりとして赤褐色の棧瓦が葺かれている。

酒蔵は2つの倉で構成されているが、小屋組を確認すると、建築年代の違う2つの倉が繋がられていることがわかる。

出入口から7間分は、くの字型に湾曲した幅の厚いマツ材が5本架け渡され、その中央に中引梁を置き、束を据え、母屋、垂木、野地板と重ねた構成である。一方、同様の構成ではあるが、後方の8.5間分はまっすぐなマツ材の丸太を組んでいる。小屋梁が幾層にも重なる点は、構造技術面で洗練された印象となり、建設年がより近いことがわかる。



【小屋組（上：江戸期、下：明治期）】

